

2026年1月5日
株式会社ユビテック
代表取締役社長 池田 学

2026年 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。

昨年の国内経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、ウクライナ情勢や中東情勢、米中間の緊張関係の継続など、地政学リスクの高い状況が続きました。また、米国の関税問題や経済政策の不確実性、中国経済の先行き懸念などの影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社およびユビテックソリューションズは、2026年6月期から2028年6月期までの「ユビテック 新3か年計画」を策定し、この期間を自社SaaSサービスの成長期と位置づけました。新たな基本方針として、「インターロックシステムの早期拡販によるD-Driveの基幹事業への成長」、「社会ニーズに即したWork Mateの安定成長」、「自社サービスにより蓄積されたデータの活用による第3の事業軸の創出」を掲げ、社員一丸となって営業黒字化およびキャッシュフロー改善を目指しています。

前中期経営計画（2022年6月期～2025年6月期）において、ハードウェア製造受託から自社SaaSサービスへとビジネスモデルの転換を図ったことで、社会環境の変化に対して柔軟に対応できる組織体制を構築することができました。当社のサービス領域では、白ナンバー事業者におけるアルコールチェックの義務化や、昨年6月に施行された改正労働安全衛生規則による熱中症対策の義務化など、企業を取り巻く環境変化が事業機会の創出につながっています。当社の有する高い専門性を生かし、迅速に新たなサービスメニューを開発・提供することで導入社数は着実に増加し、業績も改善基調にあります。「安全・法令遵守・効率化」への社会的要請は一層高まっており、人的資本を守る取り組みは経営の最重要課題となっています。これらの課題に対し、新たなサービス開発に取り組み、事業を通じて解決策を提供してまいります。

企業理念である「人と社会に安全と快適を」のもと、「お客さまの健康と安全を守る」「社会変革と多様性に応じた最適な答えを導き出す」ことを事業活動の根幹に据え、お客さまの安全と健康の実現を継続的に支援することで、サステナブルな企業経営の実現と社会の発展に貢献してまいります。

以上

<報道関係者からのお問い合わせ先>
株式会社ユビテック 広報マーケティング室 TEL: 03-5447-6732